

だいじょうぶ。ともにあるこう。(2016. 5. 16)

三鷹市議会議員

野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.90

■女性議員を増やす！



労働認定裁判に勝訴し、被害者に寄り添う支援をしてきた。女性団体より推されて決意。

★「明日を決めるのは私たち—平和といのちと人権を！5・3憲法集会。無所属で国政にチャレンジする佐藤かおりさんとニュース配布。セクハラ

◆「女性を議会へ 本気で増やす！」4/10第1部『日本の女性議員』



の報告等聞き応えがあった。83人の女性国会議員を増やすというJG83キャンペーン等、充実していた。

るシンポジウム。第2部女性議員比率が36%の台湾、16%の韓国から



■未来をこの手に！大討論会4/15。全日本おばちゃん党関東オフ会による政策提言をつくるワールドカフェにも参加。

～女性参政権70周年記念イベント、いろいろ～



■市川房枝記念会「女性は政治を変えられるか」4/18。基調講演「政治を担う女性たちよ、荒野で叫ぶ声たるべし」浜矩子さん。鋭く質し、弱者の声を代弁し、正しく怒り、もらい泣きできる人がリーダーシップをとるべき、と。第2部は各党女性国会議員によるシンポジウム。

■「女性参政権70年の荒野で叫ぶ」4/23。東京新聞



・北陸中日新聞に掲載された女性の政治参加関連の記事をまとめた『女たちの情熱政治』の出版記念シンポジウム。

★佐藤かおりとともにあゆむ会、市民の力・東京、緑の党合同街宣@秋葉原5/15。よりそう力が政治を変える、東京から与野党逆転！と訴える力強いスピーチ。



■熊本地震被害支援に寄付。議員報酬とは別（二重取り）のふじみ衛生組合議会議員報酬2015年5～12月分308,569円（税支払い後）+4/22



の会バザー収益7,310円を、三鷹市外の7団体に。アトピー支援のアトぴっ子地球の子ネットワーク、外国人支援のコムスタカ、食糧支援の全国フードバンク推進協議会、避難所支援の共生地域創造財団、女性支援の日本YWCA、アトピー食支援等の被災地の子どもを支援する神奈川県民の会、ペット同伴者支援のピース・ウィンズ・ジャパン。

6月議会日程予定

- 9日(木) 本会議(一般質問) 請願締切
- 10日(金) 本会議(一般質問) 野村は午後の予定
- 13日(月) 本会議(議案上程)
- 15日(水) 議会運営委員会
- 16日(木) 本会議(議案審議、補正予算代表質疑)
- 17日(金)、20日(月)~22日(水) 常任委員会
- 23日(木)~24日(金) 特別委員会
- 25日(月) 議会運営委員会
- 30日(木) 本会議(委員会報告、議案等審議)

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会

2015年収支報告書



I	収入総額	
1	前年度繰越金	1,720,544
2	本年の収入額	2,454,514
	(会費)	116,000
	(寄附)	2,167,919
	(横田基地ツアー参加費)	170,500
	(その他)	95
	1~2の計	4,175,058
II	支出総額	
1	経常経費	1,534,710
	(人件費)	81,560
	(光水熱費)	8,008
	(備品消耗費)	78,325
	(事務所費)	1,366,817
2	政治活動費	1,167,487
	(組織活動費)	71,159
	(宣伝その他の事業費)	1,091,028
	内(宣伝事業費)	920,528
	内(横田基地ツアー事業費)	170,500
	(調査研究費)	5,300
	1~2の計	2,707,497
III	翌年への繰越金額	
	I-II	1,467,561

★センターの設立準備。→今年は甲状腺エコー検査を含む検診センター設立準備中。その時々必要に合わせて毎年拡張。すごい!

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No90
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net
Url: http://www.nomura-yoko.net
Twitter: @hitujinomura



■福島原発震災情報連絡センター総会・被災地スタディツアー5/25~26

○被災5年、原発事故の現状と帰還政策の実態を知る。原発事故避難者、避難自治体と受け入れ自治体の実情。



治体の実情。

(1) 報告：いわき市の現状と課題：(いわき市職員)

(2) 報告：大熊町の住民の今—全町避難自治体の現状と住民の生きる権利：(小幡ますみ：大熊町議会議員) →全町避難の大熊町で、町役場機能のある会津といわき市とを行き来する生活

という小幡さん。町民の声を拾い可視化するかが大変な作業だと思う。

(3) 報告：福島原発事故は終わらない—現状と被害者の闘い：(武藤類子：福島原発告訴団長) →ようやく東電元幹部3人が起訴。しかし汚染水放出では不起訴。正義を求める闘いは終わらないのだと実感。

○榎葉町~富岡町視察(マイクロバス)—避難指示解除準備区域の解除後とこれから解除する区域の定点観測。

ガイド：富岡町3.11を語る会中山弘子さん



●榎葉町—全住民避難で初の避難指示解除から半年、放射性廃棄物の仮保管の状況、廃棄物最終処分場の建設現場・Jビレッジ・榎葉南工業団地・天神岬・エコテック・大堤



●富岡町—2017年3月に指定解除の居住制限区域(20~

50mSv/y)の現状、立入禁止区域の境界・富岡駅・富岡海岸・富岡商店街・夜ノ森公園・滝沢ダム→富岡駅前。去年は駅舎やホームが撤去された。今年には駅前商店街に含む住宅が撤去され更地になっていた。元ホームの向こうには除染処分の減容化施設。その隣には焼却場ができていた。あまりの景色の変わりようにビックリ!

●いわき放射能市民測定室たらちねβラボ見学と検診せ★

